

番号	氏名	抱負
221	広藤 喜章	私は国立病院機構名古屋医療センターの客員研究員でもあり、主に医療被ばくに関する研究や放射線防護全般に力を入れています。福島原発事故後は避難住民に直接ふれ合いながらリスコミに紛争しておりました。臨床研究では新規マンモグラフィ装置の開発なども手がけており、また、現在編集委員も務めさせて頂いております。これからも放射線技術学の発展のために精神誠意努力し、微力ながらより一層貢献していきたいと思っております。
222	福田 徹	長崎大学病院の福田徹です。私自身もそうでしたが、長崎県は、放射線技術学会の会員が多くなく、研究活動もあまり盛んではないように感じています。日々、診療業務に追われ、研究に費やす時間もままならないと思いますが、私としては大学病院を中心として、長崎県内で研究する気運が高まればと考えています。研究するきっかけを作り、私自身は楔になればと願っています。
223	福西 康修	日本放射線技術学会の学会としてのレベル向上と診療放射線技師の学力および医療技術者としての質の向上、さらには医療技術の発展に、微少たりとも貢献できればと思ひ立候補いたします。
224	藤岡 知加子	日本放射線技術学会が会員にとって有益な学会であり続けるためには会員の意見を反映させる事が必要です。現場の最前線にいる私たちの世代から代議員が選ばれる事はこの事に繋がると思っています。これからの技術学会を改革していくために少しでも何かできればと思ひ立候補いたしました。皆様が会員で良かったと思える学会にしていけたらと思ひます。よろしくお願い致します。
225	藤谷 信将	私は近畿支部で学術委員をさせて頂いております。また社会人大学院生として放射線生物学・腫瘍学の研究を行っています。放射線技術学の研究を牽引しているJSRTに異なる研究分野からの観点で貢献していきたいと思っております。よろしくお願い致します。
226	藤埜 浩一	これまで、分科会員、近畿支部学術委員、専門技師認定機構理事など、本学会の代表として携わってきました。この度は技師長として少し大きな視野に立ち、診療放射線技師の社会貢献の源となる本会が進める研究活動、様々な活動に協力・貢献して使命感を感じています。その初めの一歩として、今回立候補を決意しました。私自身まだまだ微力ではありますが、今後ますます未来に向け進化する本学会運営に携わることができれば光栄です。
227	藤淵 俊王	放射線防護分科会委員、関係法令検討委員会委員、また平成27年度より九州支部の理事を務めさせて頂きました。特に九州支部の放射線防護に関するセミナー等の開催に関しまして力を入れ、会員への情報提供の窓口になるよう努力したいと思っております。
228	藤本 勝明	現在、中部支部富山県理事を務めさせて頂いておりますが、本部の代議員となることで地域の意見を取り纏め、放射線技術の向上、さらには日本の医療技術の向上に微力ながら貢献できるよう活動していきたいと考えております。
229	船橋 正夫	
230	船水 憲一	学術発表の演題の活性化と放射線技術学の発展に努力したい。